

(様式第3号)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件 2）

カテ ゴリ	非該 当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】エコアクション21の取得に向けて計画をたてる。			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】ホームページに環境情報を公開する予定。												12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】社屋に太陽光パネルの設置を計画する予定。							7.2					13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】サプライヤーへ非合法材の納入を行わない指示と確認をする予定。天然資源の利用活動が行われるメーカーの商品を多く取り扱う予定。												12.2	13	14	15			
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則及び服務規律で整備されており、社内浸透を年次ごと全体会議にて行っている。																16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	経営計画書に明記し、社内浸透を年次ごと全体会議にて行っている。																16		
24	公正 な 事 業 慣 行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	【予定】商標登録を行い管理をする予定。										8.2 8.3	9							
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報に対する方針を定めて公示をしている。社内研修もカリキュラムを組んで行っている。																16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【予定】サプライヤーへの確認と管理を行っていく予定。																16		
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】Sedexの活用を行いリスク管理を行う予定。					5		8		10	12	13	14	15	16	17			
28	製品 ・ サー ビス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	サービス提供の内容と範囲を説明し理解の有無を確認している。今後におけるリスクを報告書を用いて説明している。		3.9										12.4						
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	顧客から品質に対する苦情に補償する仕組みが整備されている。苦情に関しては専用の報告書で経緯、対応、対策、指示が社内共有される仕組みが構築されている。									9									
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	サービス提供は顧客のライフサイクルを配慮した内容で行っている。					6						12	13	14	15				
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	低燃費につながる商品やサービスの提供を、四半期ごとに改新をさせている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
32 社会貢献・ 地域貢献	32 社会貢献・ 地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	【予定】地域への影響を把握し改善に努めるため、地域との対話や見学会を計画する予定。				4					9		11	12		14	15		17	
		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地区の有事の際は避難場所となっている。学校を通じて次世代を担う人材の交流に参加している。災害地区や特殊学級への寄付を行っている。				4							11			14	15		17	
		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	【予定】顧客へ配布している広報誌及びWeb通信、地消地産を促す記事を掲載する予定。								8	9		11	12	13					
35 組織体制	35 組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念、経営方針、年度目標を詳細にわたり月次で全員を招集した会議にて共有をしている。								8	9								17	
		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	年次の全体会議で浸透させ、社員及び管理職に遵守の規定と評価基準により体制の構築ができている。																	16	
		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	【予定】体制の整備を行い担当者を任命し、環境に及ぼす影響の対応にあたる予定。																	16	
		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	ステークホルダー毎、適切な対話や相互作用の機会を設けて対応を行っている。顧客：お客様の声を集積 株主、金融及びサプライヤー：業者会開催にて情報交換																16	17	
		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	会計会社による定期的にリスクコンサルティングを受けており、適切な対策を講じている。																	16	
		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	ステークフォルダーとの意思疎通により、社会や環境に及ぼす影響をみたいして、利益追求より企業としての責任追及を優先した方針で取り組んでいる。																	16	
		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】BCPの策定を損害保険会社のコンサルを受けて制定する予定。									9		11		13	13.1			16	
		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	事業後継者及び後継の経営陣を育成計画に沿って行っている。								8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
 - 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
 - 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
 - また、取組に関する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるばし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）